プログラム PROGRAM

平成19年 大規模つなみ 津波防災総合訓練

解 説 者:
東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター教授
今村 文彦 氏

訓練の目的

今後30年以内に99%の確率で発生するといわれている宮城県沖の地震や、明治三陸型の地震など日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震は、甚大な被害が出ると想定されています。これらの地震津波による被害の軽減を目指して、大規模津波防災総合訓練を行います。

訓練は、住民の避難訓練、地震津波情報の収集・伝達、漂流者救助・救急、応急復旧、物資輸送訓練等を沿岸地域住民と防災関係団体・機関が協力、連携し実施します。

9:00 / 9:30 / 9:50 / 10:00 / 10:30 / 11:00 / 11:30 / 11:50

訓練第１部

9:00~ 津波警報の伝達訓練
・気象庁が発表する地震情報・津波警報を受けて、県・市町村が住民に情報伝達する訓練
・住民には防災無線、サイレン等、在泊船舶には拡声器、電光掲示板を使った情報伝達訓練

9:00~9:30 住民の避難訓練
・地震発生と同時に実施される、住民の避難訓練。

9:05~9:10 水門等閉鎖訓練
・津波警報を受けて、水門、陸門等を閉鎖する訓練

9:05~9:10 情報表示板活用訓練
・道路利用者に対して、情報表示板を使って、津波情報を提供する訓練

9:10~9:45 ヘリコプター・CCTV等による被災情報収集訓練
・航空機、CCTV等により被災情報を収集し、電子国土を用いた災害情報集約訓練

開会式
挨拶 国土交通大臣・宮城県知事・気仙沼市長

訓練第２部

10:00~11:45 被災者救助訓練
・ヘリコプター、潜水士による海上漂流者の救出と洋上救護所におけるトリアージ、救護、重傷者の搬送訓練
・放置車両の撤去、車両に閉じ込められた被災者の救出、倒壊家屋からの被災者の救出等の訓練
・トリアージ救護エリアを設営し、搬送される被災者のトリアージ、救護、重傷者の搬送訓練

10:25~10:40 海水浴客の避難訓練
・気仙沼市内の海水浴場における海水浴客の避難訓練

10:30~11:10 消火訓練
・地震による火災を想定し、消防ポンプ車による放水や油タンクの消火訓練、消防団、一般住民によるバケツや消火器を使った消火　訓練

10:05~11:25 被災情報の収集訓練
・航空機、パトロールカーにより収集した河川・道路施設等の被災状況の収集訓練　・政府調査団による被災情報収集訓練



10:45~11:10 港湾啓開訓練
・流出油を防御するためのオイルフェンスの展張、流出油の回収・ 拡散、浮遊物の除去や海底の沈設物の探査等、海上ルートの啓開訓練

11:15~11:30 緊急輸送訓練
・食料、医薬品等の緊急物資を陸路・海路・空路によって、緊急輸送する訓練

11:30~11:45 ライフライン復旧訓練
・特設公衆電話の設置、移動基地車による携帯電話サービス、ガス、水道及び電力の復旧訓練



10:30~11:30 炊き出し訓練
・避難所を想定した、中学生・自治体職員等による炊き出し訓練

11:00~11:15 堤防・道路復旧訓練
・地震、津波により破壊された堤防、道路の復旧と建物危険判定士による建物安全点検の訓練

11:30~11:50 現地対策拠点設営訓練
・災害対策車両の搬入、現地本部テントの設置等により、現地対策拠点を設営する訓練

閉会式
挨拶 内閣府防災担当大臣・国土交通省 東北地方整備局長